

- ・ A Warm Introduction to Our Supporters  
はじめまして！よろしくお願いたします！
- ・ Experience Japanese Tradition  
日本の伝統芸能を鑑賞
- ・ UNU@50 国連大学50周年記念式典

公益財団法人 国連大学協力会

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70

TEL 03-5467-1368 FAX 03-5467-1349

URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail [jf@unu.edu](mailto:jf@unu.edu)

## First Meeting to Our Supporters

はじめまして！よろしくお願いたします！

国連大学協力会では、ご支援いただく皆さまを「賛助会員」と呼び、皆さまからの寄付をもとに、国連大学本部および国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS)の教育・研究活動を支援しています。とりわけUNU-IAS大学院プログラムに在籍する学生への奨学金助成に力を注いでおり、その受給者を「JFScholarship生」と呼んでいます。JFScholarship生の中には、特別賛助会員の皆さまからのご厚意により、ご支援者名を冠した奨学金のもと、入学から修了までの日本での生活を支えていただいている学生がいます。2025年9月開始の新学期に来日したこれらの学生は、ご支援への感謝の気持ちを直接お伝えるため、それぞれのご支援者の皆さまのもとへご挨拶に伺いました。

### Mitsubishi UFJ Foundation Scholarship for UNU

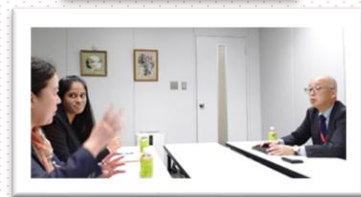
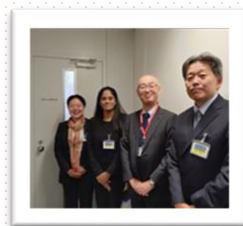
#### 公益財団法人三菱UFJ国際財団

2025年11月5日、Mitsubishi UFJ Foundation Scholarship for UNUのUNU-IAS博士課程1年ジャヤンガ ニシャディ サマララタナ コディアラさん(スリランカ)が、これから3年間の日本での学生生活を支えてくれる奨学金スポンサーである公益財団法人三菱UFJ国際財団を訪問し入国の挨拶をしました。

まだ11月だというのに10℃を切るほどの冷たい朝、ダウンに身を包み少し硬い表情で現れたジャヤンガさん。三菱UFJ国際財団専務理事の渡邊様の『Call me, Kuni!』と温かく優しいお声かけに一気に緊張が解けたようで、和やかに面談が始まりました。

三菱UFJ国際財団がスリランカのコロombo大学の学生に奨学金をだしておりスリランカを訪ねたことがあること、その際、第二次世界大戦後、日本を分割占領から救ってくれたジャルワダナ元スリランカ大統領の愛の演説の話聞き感激したことが語られ、スリランカ出身のジャヤンガさんを支援することができ大変嬉しく思っているとお言葉をいただくと、ジャヤンガさんもととても嬉しそうにこれから博士課程で取り組むWater Resource Management(水資源管理)の研究について話し、三菱UFJ国際財団様のサポートがなければUNU-IASに入学することはできなかつたと感謝を伝えました。

また、ジャルワダナ元スリランカ大統領の記念碑が鎌倉大仏で有名な高德院にあることを聞くと、是非鎌倉に行ってみたくと意欲満々に話してくれました。渡邊様から、「日本での修学のお力になれることを大変嬉しく思います。3年間頑張ってください。」とエールが送られました。



### Toyota Tsusho Scholarship for UNU

#### 豊田通商株式会社

2025年11月17日、Toyota Tsusho Scholarship for UNUのUNU-IAS修士課程1年アマヌエル テレフェ ベネベルさん(エチオピア)が、これから2年間の日本での学生生活を支えてくれる奨学金スポンサーである豊田通商株式会社東京本社を訪問し、総務部部長の森畑様とアフリカ本部アフリカ企画部部長の西川様に入国の挨拶をしました。

入国後わずかひと月足らず、山手線に乗るのも初めてと、緊張を隠せぬアマヌエルさん。品川にあるオフィスを訪ね、応接室から見える景色について説明を受けると、自分の住まいが見えることを話し、面談が始まりました。

インドで学士を修めた後すぐにUNU-IASの修士課程に入学したアマヌエルさんは、これから取り組むWater Resource Management(水資源管理)の研究について語り、UNU-IASの大学院には、いろいろな国の学生が集まっており多様性に富んだ環境で勉学できることを述べ、豊田通商株式会社様のサポートがなければこのような環境で勉強することはできなかつたと感謝を伝えました。また、豊田通商株式会社の皆さまから、「日本での修学のお力になれることを大変嬉しく思います。2年間頑張ってください。」とエールが送られました。



# Experience Traditional Japanese Arts

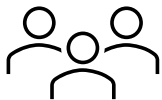
## 日本の伝統芸能を鑑賞

国連大学協力は、日本で学ぶUNU-IAS大学院プログラムに、毎年日本文化への理解を深めてもらう機会や彼らを支援する皆さまと交流する機会を設けています。今号では、日本の伝統芸能である歌舞伎と文楽の鑑賞会の様子をまとめてお届けします。

今回参加した二つの鑑賞会は、独立行政法人日本芸術文化振興会が主催しているもので、初めて歌舞伎や文楽を鑑賞する外国人でも楽しめるよう工夫されています。英語や他の言語に対応したパンフレットや英語での音声ガイドが用意され、英語字幕も上演中に見ることができるようになっています。

### Discover KABUKI

2025年6月20日、サンパール荒川で開催された「Discover KABUKI-外国人のための歌舞伎鑑賞教室」には、大学院生8名が参加しました。プログラムの冒頭では、市川青虎さんによる解説「歌舞伎のみかた」が行われました。続いて上演される演目が「忠臣蔵」をベースにした作品であることから、「もし赤穂浪士がスマートフォンを持っていたら」というユニークな設定を用い、赤穂浪士の討ち入りのエピソードや『忠臣蔵』の物語を交えながら、登場人物やあらすじについて丁寧な解説が行われました。続いて、「土屋主税(つちやちから)」が上演されました。「大向こう」の「成駒屋!」「萬屋」「待ってました」といった掛け声が飛び交い、その迫力に皆驚いていました。



学生たちの感想

面白かったのは、日本の自殺文化を観察できたこと。侍ではないキャラクターでさえ、ほとんどみんな切腹の話を持ち出す感じがして、そこが特に印象に残った。

物語のサスペンスや衣装、そして侍の葛藤がすごく良かった。それに、侍の中には詩人でもあった人がいるってことも知ることができて、新鮮だった。



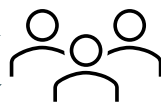
公益財団法人 森村豊明会  
MORIMURA HOUMEIKAI FOUNDATION

今回掲載のDiscover KABUKIは公益財団法人森村豊明会の助成金を活用して、開催いたしました。

### Discover BUNRAKU

2025年12月17日、東京芸術劇場で開催された「Discover BUNRAKU-外国人のための文楽鑑賞教室」には、大学院生8名が参加しました。はじめに、京の町並みを背景に、二人の芸人が新春を寿ぐおめでたい一幕「万才」が披露されました。続いて、日本語と英語による解説「文楽の魅力」があり、太夫・三味線・人形の三つの役割が一体となって作品を作り上げる文楽の特徴や、特に人形が三人の人形遣いによって操られていることが紹介されました。学生たちは、その巧みな技や表現力に圧倒されていました。その後、日本と大陸を舞台にした近松門左衛門の代表作『国姓爺合戦(こくせいやがっせん)』が上演されました。悲惨な戦いの中に描かれる義理人情の厚さと美しさが印象的で、人形たちがまるで人間のように感じられるその所作に、学生たちは深い感動を覚えていました。

人形が演者によって生き生きと動かされていく精密さと、その演技に込められた感情の深さが印象的だった。



学生たちの感想

女性が、男性が成功したり望みを叶えるために身を犠牲にしなければならない場面が印象に残った。ただ、この物語は何百年も前のものなので、女性差別的な行為は別の視点で捉える必要があると思う。



### UNU@50 国連大学50周年記念式典が開催されました

2025年9月18日、国連大学本部において、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、国連大学50周年記念式典が開催されました。国連大学協力会理事長の小宮山宏をはじめ、国連大学協力会の関係者も数多くお招きいただき、各国から招待されたゲストの皆さまとともに晴れの日をお祝いいたしました。

50周年、誠にありがとうございます！



国連大学Webサイト掲載記事はこちらから